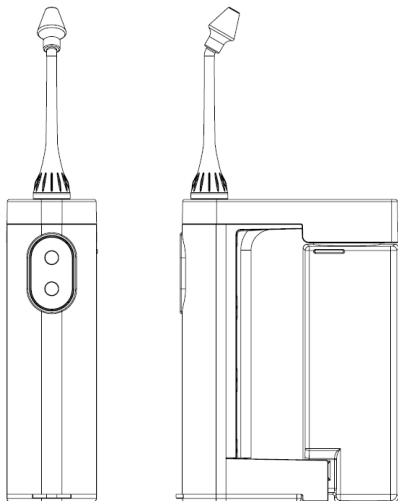


【禁忌・禁止】

1. 高齢者・小児・乳幼児や自分で操作ができない方、鼻の粘膜が弱い方、嚥下（えんげ）障害のある方などは使用しない。
[事故やけがのおそれがあります。]
2. 耳鼻科及び眼科の疾患がある方や過去にあった方は、専門の医師に相談の上使用する。
[事故やケガ、体調不良をおこすおそれがあります。]
3. 乳幼児の手の届くところに置かない。
付属品や取りはずしのできる部品などの誤飲による事故やトラブルのおそれがあります
4. 不安定な場所に置いたり保管しない。事故や水漏れ、故障の原因になります。
5. ノズル穴やすき間にピンや針金などの金属物等、異物をいれない。
故障又は異常動作してケガをするおそれがあります。
6. 本体・タンク・電池フタ・電池・ノズルは、幼児の手の届く所に置いたり保管したりしない。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談する。
7. 本体を水につけたり、水をかけたり水洗いしない。
ショートのおそれがあります。
8. 絶対に分解したり修理・改造は行わない。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

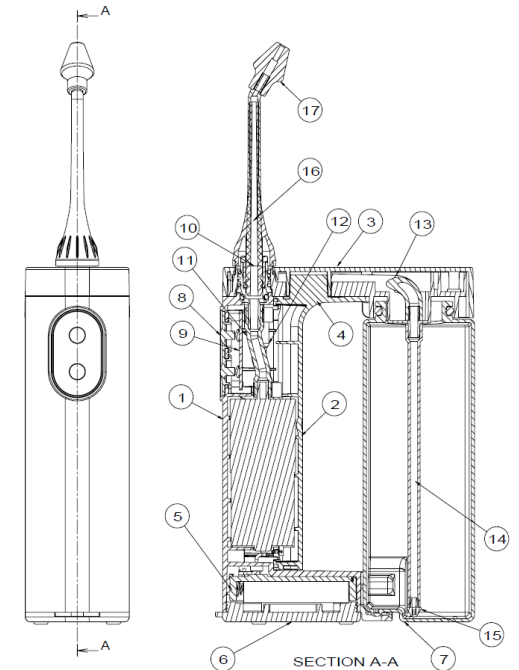


寸法：高さ 152 x 幅 43 x 奥行 107mm

ノズル取付時の高さ 240mm

重量：約 220 g（乾電池を除く）

構造



- ① ハウジング
- ② バックカバー
- ③ トップカバー
- ④ タンクホルダー
- ⑤ 電池ボックス
- ⑥ 電池蓋
- ⑦ タンク
- ⑧ スイッチボタン
- ⑨ スイッチ基板
- ⑩ ジョイント
- ⑪ インナーホース（排水）
- ⑫ エルボホース（給水）
- ⑬ 給水ホース
- ⑭ タンクホース
- ⑮ フィルター
- ⑯ ノズル
- ⑰ ノズルトップ

3. 付属品

- (1) 取扱説明書
- (2) ノズルセット(1 本)
- (3) スプーン
- (4) 洗浄剤 別売り品お試用 10 包
(成分 塩化ナトリウム、メントール ペパーミント)
食塩水同様洗浄時の痛みを和らげます。

4. 原理

モーターの回転でポンプを動かし、タンク内の洗浄液を
吸い上げる。吸い上げた洗浄液はノズルを通して噴出させる。
電流の通電時間を変えることで、各モードの吐出量を
変えている。

【使用目的又は効果】

食塩温水を直接鼻腔に適用するために用いる器具である。
ホーン型のノズルヘッドを鼻腔にセットし、
粘膜及び鼻の通路を洗浄及び治療する温かい塩水等の
治療液を充填する。

【品目仕様】

- | | |
|---------------|---|
| 1. 吐出量 | 弱 320 ± 90ml/分
中 420 ± 90ml/分
強 490 ± 90ml/分
(弱<中<強) |
| 2. 消費電流 | 弱 0.21 ± 0.2 A
中 0.29 ± 0.2 A
強 0.35 ± 0.2 A
(弱<中<強) |
| 3. 電源 | 単 4 アルカリ乾電池 2 本
(DC3.0V) |
| 4. 感電保護クラス | クラス 0 |
| 5. 水に対する保護クラス | 日常生活防水 (保護等級 3 相当) |

【操作方法又は使用方法】

初めてご使用になるとき、又は長時間使用しないで
保管されたときは、一度水を通してからご使用ください。

1. ノズルセット（ノズル・ノズルヘッド）とタンクを
取り付ける。確実にしっかり押し込んでください。
指をはさまないように注意してください。
2. 給水口に、付属の計量スプーンですりきり 1 杯の食塩又は
専用の洗浄剤を 1 包入れます。

(塩濃度を体液に近い浸透圧濃度にして洗浄時の痛みを
和らげます。)

・食塩または食卓塩をご使用下さい。調味料が添加された
ものや、岩塩は使用しないでください。

・専用の洗浄剤以外の薬品等はいれないでください。

・温水は体温くらいのぬるま湯が最適です。

温水温度には十分注意して、熱湯は絶対に使用しないで
ください。

・タンクの中に吸上チューブを入れタンクを斜めに挿入し
垂直に押し取り付けます。

・本体を振って混ぜ合わせてください。

3. 鼻の洗浄

- ① ノズルヘッドを鼻孔にセットする
 - ② 洗浄スイッチ「入/強さ」を押し洗浄する
- 耳に圧力がかかり過ぎることを防ぐためノズルヘッド
と鼻孔は密閉せずに少し隙間を空けてご使用ください。
●洗浄中は口を開け、「エー」と発声しながら洗浄して
ください。食塩温水や専用の洗浄剤入り温水が気管に
入ってむせるのを防ぎます

※「入/強さ」を押すたびに水の強さが切り替わります。

弱→中→強→弱→中・・・以後繰り返し

初めてお使いのときは「弱」でお試しく下さい。

操作後 1 分経過すると自動 OFF 機能が働き機能を
停止させます

- ③ 停止する 「切」 ボタンを押すと停止。

4. 御使用後は

- ① タンクを取り外して、水洗いします。
- ② タンクに新しい水を半分ほど入れます
(洗浄剤、食塩は入れないでください)
- ③ タンクを本体に取りつけます。
- ④ 「入／強さ」スイッチを押して作動
させタンク内の水を全て噴射して
ください
- ⑤ 「切」ボタンを押して停止させます。
- ⑥ 水分をふき取り、充分乾燥させてか
ら保管してください。

※洗浄しないと雑菌などの繁殖の原因と
なります。
また塩の結晶が目詰まりして噴射できなく
なるおそれがあります。

【使用上の注意】

- ご使用中に万一お体（耳・鼻・目など）に何らかの異常や不調
が生じたり感じられたときは、直ちにご使用を止めて
医師に相談する。
- 長時間連続して使用しない。
- 塩分をきれいに洗い流さないと、塩カスがつまり、
噴射なくなります。
- お子様がご使用の際は、大人の方が付き添い目を離さない。
守らないと事故やケガ、体調不良をおこすおそれがあります。
- 鼻腔内の洗浄以外の目的で使用しない。目や耳などに水流を
当てると傷害を受けるおそれがあります。また事故やトラブル、
故障の原因になります。
- ほこり、ちり、湿気の多い場所での使用や保管はしない。
事故やトラブル、故障の原因になります。
- 他の治療器と同時に使用しない。
事故や体調をくずすおそれがあります
- ノズル穴をのぞいたり、目などを近づけない。
ケガをするおそれがあります。
- 乳幼児の手の届くところに置かない。
付属品などの誤飲による事故やトラブルの原因になります。

- 分解、修理、改造は絶対に行わない。
[事故やトラブル、故障の原因になります。]

【操作方法又は使用方法等】

- (1) 歩きながら又は、移動しながら使用しないでください。
- (2) 鼻腔を洗浄するときは、機器を常に清潔にし、
新しい温水を使用する。
- (3) タンクに 40℃以上の温水を入れない。
[やけどの原因になります。]
- (4) 周囲温度は 0℃～40℃以内で使用してください。
- (5) 使用後は必ずタンク内の塩水、洗浄液を捨て、タンクに
新しい水を入れ空運転し、ノズル、ポンプ内などの塩分
をきれいに洗い流す。
不潔な状態で使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し、
健康を害する原因になります。
また悪臭や故障の原因にもなります
- (6) 落としたり乱暴に扱ったりしないでください。
- (7) 機器を爆発物、可燃液やガスの近くで使用しない。
- (8) タンクに水を入れたまま、本体を倒して放置しない。
- (9) ノズルヘッドを外した状態で使用しない。
[事故やけがのおそれがあります。]

その他、「取扱説明書」の「安全上のご注意」や
「使用上のご注意」や「使いかた」を熟読し遵守すること。

【貯蔵方法及び有効期限】

1. 保管方法
温度、湿度の高いところや直射日光の当たる所に置かないで
ください。
2. 使用後の保管方法
(1) 機器内の洗浄をするために、タンクに新しい水を半分ほど
入れ、機器を動かしてタンク内の水を全て噴射して
ください。
[塩分をきれいに洗い流さないと、塩の結晶がつまり、
噴射なくなります。]

- (2) 水分を拭き取り、充分乾燥させてから保管してください。

不潔な状態で使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し

健康を害する原因になります。また悪臭や故障の

原因にもなります。

その他、「取扱説明書」の「使いおわたたら」や「保管」を

熟読し遵守すること

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

日光精器株式会社 滋賀工場

〒 523-0022 滋賀県近江八幡市馬淵町 2660

TEL：0748-37-7581

【保守・点検に係わる事項】

お手入れの仕方

1. 本体

- ・やわらかい布で汚れを拭き取ります。
- ・洗剤、薬品、シンナー、ベンジンなどは 故障や部品の
割れ・変色などの原因になりますので絶対に使用
しないでください。
- ・本体の水洗いはしないでください。

2. ノズルセット

- ・やわらかい布で汚れをふき取ります。
- ・汚れがひどい場合は水洗いしてください。
- ・水洗い後は、水分をよく切って水をふき取ってください。
- ・ノズルとノズルヘッドは取りはずすことができますが
組付けた状態で洗ってください。

3. タンク

- ・やわらかい布で汚れをふき取ります。
- ・汚れがひどい場合は水洗いしてください。
- ・タンク内部は上水道の水又は飲用可能な水で洗う
 - ・水洗い後は、水分をよく切ってください。
 - ・洗剤、薬品や熱湯は衛生上のトラブル、
故障の原因となります。

注意：機器の煮沸消毒しないでください

きれいに洗った後、乾燥させて保管してください。

その他、「取扱説明書」の「お手入れの仕方」を参照のこと。